

プログラム

6月18日(土)第33回日本臨床寄生虫学会

一般演題・シンポジウム・特別講演会

会場：国立国際医療研究センター 研修棟 5階 大会議室

### 特別講演 1

12:30-13:15

座長：狩野 繁之（国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部）

人類の快挙！撲滅寸前のギニアワーム感染症現場レポート

～探偵ナイトスクープでも話題になった寄生虫～

藤田 由布（レディースクリニック・サンタクルス梅田 産婦人科）

### 特別講演 2

13:25-14:10

座長：春木 宏介（獨協医科大学 埼玉医療センター臨床検査部）

顧みられない熱帯病のための新薬開発：研究室から患者のもとへ

— DNDi 研究開発の 20 年 —

平林 史子（特定非営利活動法人 DNDi japan）

### シンポジウム「熱帯病治療薬研究班の歩みと現在の活動」

10:30-12:00

座長：丸山 治彦（宮崎大学医学部 医学科感染症学講座寄生虫学分野）

① 熱帯病治療薬研究班の変遷-その 40 年間

木村 幹男（結核予防会 介護老人保健施設「保生の森」・新山手病院）

② 重症マラリアに対するグルコン酸キニーネ注射薬の仕様実態

野本 英俊（国立国際医療研究センター 総合感染症科・国際感染症センター）

③ 非 HIV 感染症患者におけるトキソプラズマ症

山元 佳（国立国際医療研究センター 国際感染症センター）

④ 肝蛭症に対するトリクラベンダゾール錠の治療研究

丸山 治彦（宮崎大学医学部 医学科感染症学講座寄生虫学分野）

## 一般演題1 「アメーバ」

9:00-9:30

座長：所 正治（金沢大学医薬保健研究域医学系）

- ① 2013年から2016年の4年間に経験したアcantアメーバ角膜炎11例  
○山田 稔<sup>1)</sup>、中屋 隆明<sup>1)</sup>、福岡 秀記<sup>2)</sup>、稲富 勉<sup>2)</sup>、外園 千恵<sup>2)</sup>、横井 則彦<sup>2)</sup>、木下 茂<sup>2)</sup>  
1) 京都府立医大・院・感染病態学、2) 同眼科学
- ② PCR法により腸組織からアcantアメーバ遺伝子が検出された症例  
原 樹  
久留米大学医学部感染医学講座真核微生物学部門
- ③ 自由生活性アメーバ *Balamuthia mandrillaris* 感染による病態の考察  
○所 正治<sup>1)</sup>、横尾 英明<sup>2)</sup>、原 樹<sup>3)</sup>  
1) 金沢大学医薬保健研究域医学系国際感染症制御学、2) 群馬大学大学院医学系研究科病態病理学  
3) 久留米大学医学部感染医学真核微生物学

## 一般演題2 「原虫・血液」

9:30-9:50

座長：前田 卓哉（埼玉医科大学医学部 臨床検査医学）

- ① 既存薬剤に耐性を示す腫トリコモナスの生薬感受性  
○本庄 唯意<sup>1)</sup>、平崎 能郎<sup>2)</sup>、糸山 頌理<sup>3)</sup>、林 暁霞<sup>1)</sup>、坂本 寛和<sup>1)</sup>、生水 真紀夫<sup>3)</sup>、彦坂 健児<sup>1)</sup>  
1) 千葉大学大学院 医学研究院 感染生体防御学、2) 千葉大学大学院 医学研究院 和漢診療学、  
3) 千葉大学大学院 医学研究院 生殖医学
- ② 早期治療介入するも重度神経障害を伴った先天性トキソプラズマ症の1例  
○大井田 憲泰<sup>1)</sup>、九島 玲子<sup>1)</sup>、大森 意索<sup>1)</sup>、有坂 敦子<sup>2)</sup>、中村（内山）ふくみ<sup>3)</sup>  
1) 東京都立墨東病院 新生児科、2) 同 小児科、3) 同 感染症科

## 一般演題3 「マラリア」

9:50-10:20

座長：川合 覚（獨協医科大学医学部 熱帯病寄生虫病学）

- ① 薬剤性遅発性貧血および子宮内胎児死亡を合併した  
妊娠初期重症輸入熱帯熱マラリアの一例  
○亀谷 航平<sup>1)</sup>、野本 英俊<sup>1)</sup>、山元 佳<sup>1)</sup>、早川 佳代子<sup>1)</sup>、狩野 繁之<sup>2)</sup>、大曲 貴夫<sup>1)</sup>  
1) 国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター（DCC）、  
2) 国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部
- ② 高原虫血症の重症熱帯熱マラリアで迅速診断法（RDT）が偽陰性！  
○駒木-安田 加奈子<sup>1)</sup>、亀谷 航平<sup>2)</sup>、野本 英俊<sup>2)</sup>、山元 佳<sup>2)</sup>、早川 佳代子<sup>2)</sup>、大曲 貴夫<sup>2)</sup>、  
狩野 繁之<sup>1)</sup>  
1) 国立国際医療研究センター（NCGM）研究所、2) NCGM 病院 国際感染症センター（DCC）

③ COVID-19 流行下で経験した熱帯熱マラリアの2例

○大楠 桃子、中村（内山）ふくみ、阪本 直也、鷲野 巧弥、小坂 篤志、岩淵 千太郎  
東京都立墨東病院・感染症科

一般演題4「蠕虫1」

14:10-14:50

座長：大西 健児（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部救急救命学科）

① 複数回の肛囲検査では虫卵が検出されず、虫体から診断に至った蟯虫症の1例

○中川 良太<sup>1)</sup>、栗原 恵理佳<sup>1)</sup>、野呂瀬 一美<sup>2)</sup>、彦坂 健児<sup>2)</sup>、金澤 正樹<sup>1)</sup>、寺井 勝<sup>1)</sup>  
1) 千葉市立海浜病院小児科、2) 千葉大学大学院医学研究院感染生体防御学

② アルベンダゾールによる治療終了後の再燃と考えられたトキソカラ症の1例

○奥村 暢将、山元 佳、大曲 貴夫  
国立国際医療研究センター 国際感染症センター

③ 東京都で診断されたヒト東洋眼虫症の1例；虫体捕獲までの一部始終

○平井 由児<sup>1)</sup>、眞島 孝聡<sup>1)、2)</sup>、成松 明知<sup>3)</sup>、志村 雅彦<sup>3)</sup>、長安 英治<sup>4)</sup>、丸山 治彦<sup>4)</sup>  
1) 東京医科大学八王子医療センター、感染症科、  
2) 東京医科大学八王子医療センター 卒後臨床研修センター、  
3) 東京医科大学八王子医療センター 眼科、4) 宮崎大学 医学部 寄生虫学

④ 沖縄における最近の回虫症について

○當眞 弘<sup>1)</sup>、金城 武士<sup>2)</sup>、松田 賢也<sup>3)</sup>、岸本 英博<sup>1)</sup>  
琉球大学大学院医学研究科 1) 免疫学・寄生虫学講座、2) 感染症・呼吸器・消化器内科学講座、  
3) 沖縄県南部医療センター検査部

一般演題5「蠕虫2」

14:50-15:20

座長：中村（内山）ふくみ（東京都立墨東病院 感染症科）

① 宮崎県における二次医療圏ごとの肺吸虫症の特性

○吉田 日和<sup>1)、2)</sup>、田中 美緒<sup>1)</sup>、鴻巣 明日香<sup>1)</sup>、丸山 治彦<sup>1)</sup>  
1) 宮崎大学医学部感染学講座寄生虫学分野、2) 宮崎大学医学部医学科

② 肝被膜下出血およびその後の好酸球増多が診断の契機となった肝蛭症の1例

○吉川 正英<sup>1)</sup>、渡部 一貴<sup>2)</sup>、中谷 敏也<sup>2)</sup>、菊池 英亮<sup>2)</sup>、西村 知子<sup>1)、4)</sup>、三須 政康<sup>1)</sup>、  
北村 知嵩<sup>1)</sup>、根津 大樹<sup>3)</sup>、山戸 一郎<sup>3)</sup>、高 濟峯<sup>3)</sup>、笠原 敬<sup>4)</sup>、王寺 幸輝<sup>1)</sup>  
1) 奈良県立医科大学 病原体感染防御医学、2) 奈良県総合医療センター 消化器内科、  
3) 奈良県総合医療センター 消化器・肝胆膵外科、4) 奈良県立医科大学 感染症センター

③ 生シラス摂食によるクジラ複殖門条虫による条虫症の小児例

○鈴木 大樹<sup>1)</sup>、大戸 佑二<sup>1)</sup>、川合 覚<sup>2)</sup>、春木 宏介<sup>3)</sup>、松原 知代<sup>1)</sup>  
1) 獨協医科大学埼玉医療センター 小児科、2) 獨協医科大学医学部 熱帯病寄生虫病学、  
3) 獨協医科大学埼玉医療センター 感染制御部

座長：吉川 正英（奈良県立医科大学 病原体・感染防御医学）

① 寄生虫症診断申込書の記載内容に影響を与える因子について

○田中 美緒<sup>1)、2)</sup>、丸山 治彦<sup>1)</sup>

1) 宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野、2) 宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野

② 中部圏医療施設における寄生虫検査の現状

○松村 隆弘<sup>1)</sup>、平田 基裕<sup>2)</sup>、金森 隆樹<sup>3)</sup>、林 晃司<sup>4)</sup>、川井 孝太<sup>5)</sup>、長嶋 和子<sup>6)</sup>、  
井上 佳<sup>7)</sup>、星 雅人<sup>8)</sup>

1) 学校法人北陸大学、2) 医療法人 青山病院、3) 富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院、

4) 岐阜赤十字病院、5) 磐田市立総合病院、6) 藤田医科大学病院、

7) 独立行政法人地域医療機能推進機構 四日市羽津医療センター、8) 藤田医科大学

③ ゾウムシ幼虫による消化管偽寄生虫症の2例

○新井 明治<sup>1)</sup>、宮武 孝子<sup>2)</sup>、細木 瑞穂<sup>3)</sup>、和田 栄津子<sup>4)</sup>、山鳥 一郎<sup>4)</sup>、水野 哲志<sup>5)</sup>、  
所 正治<sup>5)</sup>

1) 香川大学医学部国際医動物学、2) 高松平和病院小児科、3) 細木小児科、

4) 福山市医師会健康支援センター検査課、5) 金沢大学医薬保健研究域医学系国際感染症制御学